

第5回村上市総合計画審議会後「意見シート（基本構想素案）」によるご意見等

1. まちの将来像

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	○1 ページ目、6 行目 ・「笑顔のあふれるまちを <u>活力を持って</u> ・・・」を「笑顔あふれるまちの <u>活力を持って</u> ・・・」へ修正。	○「更なる活力を持って…」と簡潔にして修正しました。

3. まちづくりの基本目標

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	○3 ページ目、前文、6 行目 ・「また、 <u>その取組は、全ての人々にとって安心できるものでなくてはなりませんし、将来にわたって</u> ・・・」を「また、 <u>取り組みにあたり、住民をはじめ皆さまにとって安心できるもので将来にわたって</u> ・・・」へ修正。	○ご意見にある「住民をはじめ皆様にとって」については、原文の「全ての人々にとって」に含まれているものとして、原文のままとさせていただきます。
2	○4 ページ目、基本目標（2）② ・新型コロナウイルスなど新たな感染症の対応が、「（2）豊かで安心なまち」に追加されました。危機管理の観点からここに追加されたものと思いますが、医療に関する事項として「（1）子育ての健康のまち」に追加するのが適切ではないかと思えます。（2）の場合、基本計画ではどの政策分野に反映させるのでしょうか？	○新型コロナウイルスなどの感染症については、基本目標の「（1）子育てと健康のまち」の②で「感染症対策」として記述しています。また、基本目標の「（2）豊かで安心なまち」については、基本計画の「政策分野2-1 防災」に記述しました。
3	○4 ページ目 ・意見： 基本目標（3）②についての意見。 「優れた品質の農林水産物を安定的かつ高効率に生産できる体制の構築や高収益な生産物への転換、人材の育成に取り組みます。」という事は、必要な事でもあります、その程度というか、規模と就労形態などが、地元で活躍する農林水産従事者が、その就業経験を活かせるような仕組み作りの支援が必要と考えます。 また、防災と国土保全の観点からは、流域や里山の大規模開発の規制は必要と考えます。農地の集約化	○ご意見として参考とさせていただきます。農業や林業において効率的な生産体制や収益の向上を図ることが求められておりますので、ご意見のとおり、バランスが保たれた農林業を考えていくことが必要であると考えております。

	や施設の大型化による、農耕地や林地の自然環境を破壊することが、極力少ないような観点での転換策の検討を希望します。	
4	<p>○4 ページ目</p> <p>・基本目標（3）③についての意見。</p> <p>企業誘致は、起業・創業の支援は、大規模な土地改変や、自然開発と称する事業者ではないことを考慮したいです。既存の工業団地内での操業を基本としてもらうことも優先したいです。そして、大企業でなくても、中小企業でも将来性の高い事業内容を持つ企業の誘致や、地元雇用の増加に結びつくように条件を設定しての誘致支援を希望します。</p>	○ご意見のとおりと考えます。そのような考え方を基本として企業誘致を進めてまいります。

4. 重点戦略

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	<p>○6 ページ目、前文、7行目</p> <p>・質問： 4 重点戦略 の本文7行目「コストの最適化や事業効果の向上に取り組んでいるところで。」コストの最適化とは、どのような意味を表すのかが知りたいです。</p> <p>意見： 財源の減少により既存事業の見直し、事業経費の縮小が必要な場合があると考えます。</p> <p>財政も厳しいですが、住民の生活経費も、地方の景気低迷や消費税増等で収支の不均衡が生じている世帯も増えています。そのような状況は、本計画の5年間で急速回復するかは未知です。</p> <p>そこで、コストの最適化を検討するにあたっては、生活保障の基盤となる公共性の高い事業（例えば、生活困窮時の支援や、上下水道の供給や、公的住宅支援の確保・公共交通の確保・医療保健福祉サービスの維持）は、誰一人取り残さない観点で、それらの政策を立てることを希望します。</p>	○「行政コストの最適化」とは、費用を削るという意味合いではなく、かける費用に対する効果を高めるといった意味合いが強いものです。また、無駄な費用をおさえ、真に目的に適するものとなるようにしていくという意味となります。ご意見にあるとおり市が行う事業にはコストで表せないものもありますので、一律な基準を当てはめる様なものではないと考えております。

5. 土地利用構想

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	<p>○10 ページ目</p> <p>・土地利用構想の「生活から見る各地域の現状」に関する、最下段の段落「これら市内の状況を考慮すると、…略…」の段落について意見。</p>	○ご意見にあるとおり、交通利便性の向上は重要な課題であると考えております。本市にマッチするとともに持続可能な交通体系のあり方について研究してまいります。

<p>「3つの地域と市内各地を強くネットワークする事によって市民生活の利便性は総じて向上すると考えられます。」は重視したいことです。地産地消の地域循環型経済の小型版をモデル的に作り上げることが出来ないかと考えます。</p> <p>但し、これを実現するうえでは、交通網の在り方を検討することが必要だと考えます。小回りの利く交通手段を支援する事等できると良いと思います。</p> <p>公共交通も、既存のシステムを解体してでも、検討できるような法的整備の検討も含めて、政策研究をして頂きたいです。</p>	
--	--